

SSKP つくしんぼの会報誌 つくつく通信 No.59

「つくしんぼ」はハンディのある子どもたちの放課後活動のスペースです

編集~「フリースペースつくしんぼ」 東京都町田市小川1511 TEL/FAX 042(796)8468

一学期を終えて

バタバタしているうちに一学期もアッという間に終了。4月からの新人メンバーたち(1、2年生)も、つくしんぼの環境になれ、すっかり我が者顔の今日この頃です。

さあ夏休み、夏バテするのは職員だけ???



通学の途中で

新年度が始まったばかりの1学期、この時期は幼稚園、保育園から卒園してきた黄色い帽子の小学1年生たちからよく質問を受けます。(私は地域の心障学級に通う息子の送り迎えをしているので、通学路で出会うのです)

「なんで、○○くんはおしゃべりしないの?」「ぼくたちと同じ教科書なの?」「○○くんは体が弱いんだよね」「なんで小学生なのにお母さんと歩いているの?」などなど……。

何のためらいもなく素直に疑問を投げかけてくる1年生たち。息子がこの子どもたちと同じ小学1年生の時は、私はまだ精神的に弱くて、これらの質問に答えることができませんでした。しかし、息子が高学年になった去年くらいからは、障がいのことをわかってもらえるよい機会と思えるようになり、よく彼らと話します。

「おしゃべりしないのはなんて言つていいのかわからないからだよ。みんなが声をかけても応えないことがあるけれど、無視しているわけではないんだよ」「同じ教科書を使う時もあるし、もう少し簡単な本を使う時もあるよ。みんなよりゆっくりわかっていくんだよ」「車が近づいてきてもよけられないことがあったり、家に帰る途中で別の所へ行きたくなってしまうことがあるんだよ。それでお母さんと一緒に歩くの」

質問に答えながら「これって一般の大人でもわからないことかもしれない。1年生だから躊躇せず質問してくるけれど、大人は傷つけてはいけないという気持ちから目をそらしてしまうことが多いかも」と思いました。実際5年前の私にはつらかった質問……。しかし話すことによって応援してくれる仲間ができる。そう思えるようになってから、これが私の役割だと思って話しています。

かつて手とり足とり面倒をみてくれていたクラスメートは、息子の得意、不得意をしっかり知っていて、離れたところから見ていてくれています。とまどっている時には声をかけてくれるといった良い関係ができています。

つくしんぼの庭で

今年もつくしんぼの庭に近所の1年生が遊びに来てくれるようになっています。
「遊んでいいですか？」最初はためらいがちに入ってきた健常児の1年生。でも何回か来ているうちに、すっかりおなじみさんの顔になります。つくしんぼの室内に、メンバーの子どもたちの顔写真が並んでいるのですが、それを見て「なんで私の写真がはってないの？」と自分がないのがとても不満の様子。

つくしんぼの子どもたちは一見して無関心風。が、「木のぼりしよう！」と声をかけられ、いつのまにか一緒に木の上にいたりします。（なぜか木の上で麦茶を飲んでバナナを食べるようになってしまっています。(^o^)）とにかく、同年代の子どもの影響力に驚かされます。

不思議な環境のつくしんぼの雰囲気に戻込みてしまい、自分から入っていくことが難しい子も多いので、つくしんぼに来て一緒にいてくれる子の存在はうれしいです。



今回のキッズタイムは小学6年生になってますます元気いっぱいのユウキくんです。お母さんにお話ししていただきました。

『我家にフクが来た』

我家に大きな変化が2つありました。

1つは私がパートに出始めたこと。障がいを持つ子どもがいると、長い休みがネックになって、なかなか行けないので、必要にせまられて・・・思いきって始めました。

もう1つは家族が1人(1匹)増えたこと。去年の7月、つくしんぼの音楽でお世話になっている小林先生のところからかわいい女のお子をいただきました。

最初は乗り気でなかった主人も一目見るなり名前は「オードリー」がいい！でもユウキの「フクちゃん」の一言で決まり。以来、家の中は「フク」中心。

ユウキもフクが大好きで、私の休みの時は、学校へもいっしょに行って、先生みんなに紹介して、すっかり「お兄さん」気分。図工の時間も、自分から家族としてフクの絵を描いたりして……。図工大嫌い

人間だったユウキが自分から「フクちゃん」の絵を描きたいと言ったそうで、母はビックリ。おまけに「描いたから見に来て」と言われた時は《うれしい》。

留守番もできる様になって、カギを持たせてみると、なんと立派な「カギ男」に変身。朝も自分1人の時はカギをかけて学校へ行けるようになりました。今では、散歩に行ってウンチもきちんと拾って来ます。母の知らない犬友もたくさんできて、ちょっと頼もしく見えてきたりして。

「フク」は我家にとって「福」だったのかなあ～。いたずらでおてんばだけれど、ユウキにとって、かけがえのない親友、家族で我家の二女！これからもよろしくです。



土曜活動 いざスタート!!

今年度から始まった学校の完全週休2日制。つくしんぼでも少しは何か考えなければ、ということで、月に1度、実験的にではありますが、土曜活動をやってみようということになりました。

しかし、そうなると職員の負担がますます増えてしまい……。だからといって、親子活動にしてしまうのも……。

と、いろいろ方法を模索していた時に、



4月からつくしんぼの職員として入らせてもらっています、越村です。

私は以前、障がいのある子を対象とした施設でボランティアをさせてもらっていたこともあり、そういう施設で働くことが夢だった私にとっては、つくしんぼの職員になれたことはとても幸運でした。本当に偶然で職員になったようなものだし……。

7月でつくしんぼでの生活も3ヶ月が経ちますが、つくしんぼの子ども達との付き合いは、まだ3ヶ月? もう何年も一緒にいるような気がしてならないけどなあ。

私が最初につくしんぼに抱いた感想を一つ。「なんて地味な活動をしているんだろう」と。なぜなら、私が初めてつくしんぼにボランティアに来た日は子どもが3人しか来ておらず、みんなでひっそりと

とってもうれしい助っ人軍団(?)が現れてくれました。

彼らは、法政大学現代福祉学部のサークル「PUREPURE」の皆さんです。テニス&ボランティアというなんとも学生らしい(?)奇妙なカップリングのサークルですが、つくしんぼ夏の大地沢一泊も企画の段階からいろいろ考えてくれ、頼もしい限り。

PUREPUREのホームページは
<http://www.h5.dion.ne.jp/~ymymymd/>
一度覗いてみて下さいませませ。(^o^)

コタツにあたっていたからです。しかも、はずかしがり屋のミユキちゃんには全く相手にし難い、カスミちゃんは「赤信号は止まれー」とコースターに色を塗りまくり、ヒロキくんは別室にこもってなんとも近寄りがたいオーラを発しながら、ビー玉に没頭して遊んでいました。そして、ヒロキくんと遊ぼうとしてビー玉に触った私は案の定、ど突き回されてしまいました。まあ大変。

でも、次につくしんぼに来た時にはヒロキくんと遊べたのでホッとしました。ヒロキくんが口ずさんでいた歌を私が知っていたこともあり、一緒に手をつないで歌うという仲良しぶりを發揮。つくしんぼの子ども達と仲良くなるのは難しいと思ったのは間違いのようでした。それにしても、なんとも気まぐれな彼ら。

ボランティアの初日の静けさには驚いたものの、4月から小学1、2年生の元気な新メンバーが4人加わり、最近はとても賑やかです。私はよくつくしんぼでの生活を友達に話すのですが、みんなとても羨ましがってくれます。しかも爆笑つきで。

つくしんぼのみんなへ…毎日、面白いことをしてかしてくれてありがとうございます。すごく自慢です。

つくつく通信の裏表紙

えー、つくしんぼの代表である私の、本当に勝手なる私事だつたりするのですが……。

9月の初旬あたりまでに、私の書いた小説が出版されることになりました。(^^;

タイトルは『ぼくはうみがみたくなりました』です。自閉症の青年クンと看護学校に通う女子学生サンの一泊二日のロードムービー風なるホンカ物語です。あ、別にラブストーリーではありません。

(それだと嘘臭くなるし……。(^;))

自費出版じゃありません。そんなお金はありません。福祉関係者であればみんなが知ってる、あの天下の「ぶどう社」からの出版です。

ぶどう社の本をご存じの方は、なんでぶどう社が小説を出すの?と不思議に思われるかも知れません。でも、読んで頂ければ、その理由がわかると思います。

ただ、ぶどう社は福祉の分野では有名なんですけど、社長の市毛サン曰く、「大手出版社と肩を並べられる規模じゃないんだよ…」とのこと。(なんせ社員が3人。(^o^)) そんなわけで、ご近所の本屋サンに並ぶことはまずなさそうです。注文しないと手に入らないようです。

というわけで、ご近所の皆様には、私がコツコツ売り歩こうかな、なんて思っておりままで、もし買って下さるという嬉しい方は、つくしんぼの山下の方までご連絡下さい。m(_)_m

佐藤様、新卓様、つくし野伝道所様、荒木様、川上様、田口様、福井様、鈴木様、堀内様、高橋様、木下様、竹田様、小林様、金森様、谷沢様、井上様、刈屋様、斎藤様、猪俣様、浅川様、斎藤様、井上様、山田様、萩村様、中村様、清水様、峯岸様、長谷川様、松谷様、宇佐美様、岡村様、福田様、石寺様、阿部様、柴田様、宮島様、松山様、松見様、中西様、池沢様、小野様、坂本建設工業様

♪ささえる会・ご更新ありがとうございました♪

(5月~6月)

つくしんぼをささえる会 ご入会・ご更新のお願い

フリースペースつくしんぼはハンディをもつ子ども達の放課後活動の場として活動しています。96年5月に開所し、現在は補助金を頂いていますが、運営面で苦しいのが現状です。

もしよろしかったら「ささえる会」の会員になって頂けませんでしょうか。年会費2000円(一口)でお願いしております。

会員の皆様には、この会報「つくつく通信」を送付させて頂きます。よろしくお願ひできましたら幸いです。

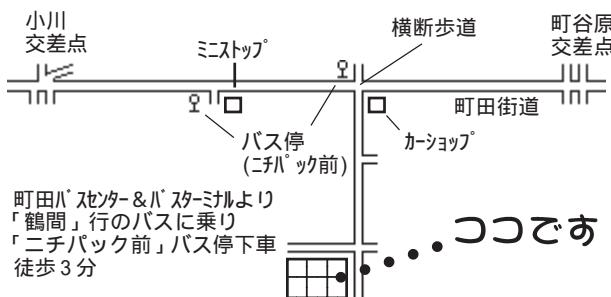
郵便振替口座番号

00120-7-168283

加入者口座名称

フリースペースつくしんぼ

♪つくしんぼの地図♪



田園都市線「すずかけ台」駅からだと徒歩15分弱です